

(仮称)豊中市 新・産業ビジョン策定に係る中間とりまとめ案について

計画期間 10年間：令和3年度（2021年）～令和12年度（2030年）

策定の目的

産業振興ビジョン（1990年）の策定以降、状況に応じて個別具体の計画や施策を展開してきたが、今後の産業振興をさらに推進するため、市の産業の置かれている状況の変化や今後の展望、可能性を見据えた「新・産業ビジョン」で市の産業全体の方向性を示すもの。

策定の背景

取り組み実績

<とよなか起業・チャレンジセンター>

- 入居企業 累計79社（事業継続率7割）
- 相談件数 90～140件/年

<企業立地促進計画>

- 立地促進奨励金交付件数延べ144件
10年間の交付金額の合計は6億5652万3千円

<中小企業チャレンジ促進プラン>

- セミナーは1カ年あたり、14～16回実施、延べ1,895人参加
- チャレンジ事業補助金は、延べ申込件数74件、採択件数40件

市を取り巻く社会経済環境の変化

- グローバル化の進展、デフレ経済、デジタル経済の進展、人手不足、経営者の高齢化など、社会経済環境が変化

本市の産業の現状

- 本市の事業所数は、13,044事業所
- 4人以下の事業所数が最も多く、全体の約6割、30人未満が9割超を占める
- 業種別で最も多いのは「卸売業・小売業」で全体の約20%
- 売上金額は「卸売業・小売業」が多く、50%を超えている。次いで、製造業・医療福祉となっている。
- 北摂7市と比較すると、事業所数は最も多い。

本市の特徴

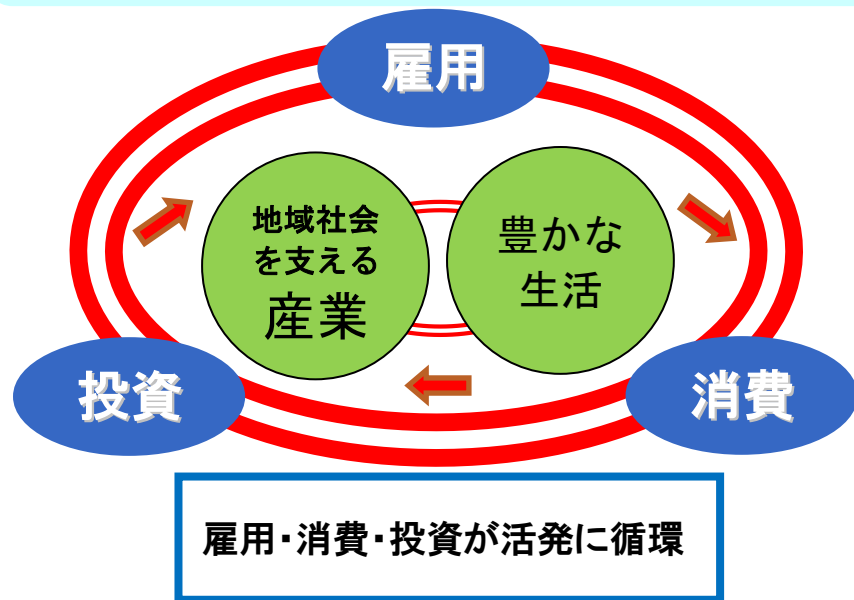
優れた交通利便性

40万人を擁する住宅都市

豊富な潜在的労働力

豊中市産業のめざす姿

地域社会を支える産業が生活を豊かにする好循環を生むまち



雇用・消費・投資が活発に循環

基本方針

豊中市産業のめざす姿を実現するために必要となる三つの基本方針を示す。

また、それら三つの基本方針については、今後本市が推進すべき産業振興施策を明確化するために、それぞれの方針に沿った、施策展開の方向性を示す。

地域社会を支える市内産業を支援することは、新たな商品・サービスの提供といった「投資」を生み、新たな「雇用」と「消費」の拡大に寄与する。

このような状況は、地域活力や市民サービスを向上させ、生活を豊かにし、都市としての魅力を高め、新たな人の流れへとつながる。

新たな人の流れを作り出すことで、市内産業が活性化し、「雇用」「消費」「投資」が拡大されるという好循環が生まれる。

この循環により、活力ある快適なまちづくりを進め、自律発展・成長する都市となることをめざす。

基本方針 1.
事業者の自立と
多様性に
重点を置いた
中小企業支援

基本方針 2.
事業者の
新たなチャレンジ
を促す環境づくり

基本方針 3.
豊中市の特徴、
資源を活かした
産業振興

基本方針1 事業者の自立と多様性に重点を置いた中小企業支援

～事業者の経営力の向上～

本市には多種多様な業種の事業所が立地しており、事業者が抱える経営課題は、人手不足、経営者の高齢化、事業承継など多様化・複雑化している。このため、事業者ごとの課題解決に向けた個別支援を行い、経営力の向上を図る。

<施策の方向性>

① 人手不足への対応

<施策例>

○潜在的労働力の活用
(女性・高齢者・外国人等)

○AI、IoT、RPA導入による業務効率化への支援

② 経営者の高齢化、事業承継への対応支援

○事業承継・M&A
セミナーの開催

○専門家の派遣

③ 事業者間ネットワーク・コミュニティづくりへの支援

○コミュニティ立ち上げの勉強会経費等の支援

○事業者間の交流機会の創出

④ 多様な資金調達への支援

○資金調達に係るセミナーの開催

○関係機関と連携した金融相談

基本方針2 事業者の新たなチャレンジを促す環境づくり

～起業支援と事業者の新たなチャレンジの促進～

デジタル経済の進展や労働環境（働き方改革・労働力不足）の変化など、事業者を取り巻く環境が変化するなかで、事業者は新たな市場開拓や、市場ニーズ・動向を踏まえた商品開発・販売戦略など、環境に応じた対策（新たなチャレンジ）が必要となる。

新規投資や事業者間連携等ができる環境づくりを進めることで、事業者の新たなチャレンジを促すとともに、事業者間の競争力を高め、事業成長と発展を支援する。

<施策の方向性>

① 起業、第二創業の支援

<施策例>

- 民間コワーキングスペースとの連携
- 女性起業家の支援
- 「とよなか創業ナビ」の推進

とよなか起業・チャレンジセンターの本格移転に合わせ、同センターが備える機能等について検討

② 事業者の新たなチャレンジの支援

- チャレンジ事業補助金の制度の充実
- 地域媒体やメディア等への情報提供

コミュニティビジネスや、空き店舗を活用したビジネスへの支援

基本方針3 豊中市の特徴、資源を活かした産業振興

～立地ポテンシャルを活かした施策展開～

本市は地域ごとの特性がある。/千里地域は、職・商・住・交通が充実し、再整備・新規投資が進行している。/空港周辺地域では、インバウンドの増加にあわせて、宿泊施設の需要がある。/阪急宝塚線沿線では、駅前の商業や各種サービス業等の業務機能が集積している。/西部地域では、空港や高速道路網などの利便性の高さにより製造業・運輸業などが集積している。/南部地域では、南部地域活性化構想による事業環境の向上や公共施設等の跡地活用による活性化が期待されている。

<施策の方向性>

①地域の特性・ポテンシャルを活かした産業集積の形成

